

な お み

理念

安全・信頼・連携・地域密着
私たちは、地域に密着した病院として、他の医療機関や関係の方々との密接な連携のもと、安全で心の通った医療・保健・福祉サービスを提供し、患者さんや地域の皆さんから信頼され選ばれる病院を目指します。

「信頼され、選ばれる病院を目指して」



御野場病院開設
40周年記念式典を行いました。

平成30年6月21日、御野場病院は開設40周年を迎えることができました。先日、40周年記念式典が行われ、沿革とともに写真スライドショーを上映し、御野場病院40年の歴史を振り返りました。例年のビール祭りとは一味違ったメモリアルなものとなりました。

これからも職員一同地域の皆様に信頼される病院を目指し、努力してまいります。今後とも、御野場病院をよろしくお願い致します。



第15回

南部圏域の地域包括を考える会

なんケアの会



——— メインテーマ ———

高齢者の栄養管理

開催日時：平成30年6月8日（金）18:00～19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

参加者：65名（介護事業所関係者32名、福祉用具事業所2名、御野場病院職員15名、一般14名、その他2名）

演題

1. 高齢者の栄養管理

2. 私の老健での取り組み

介護老人保健施設「山盛苑」施設長 宮下正弘先生

平成30年6月8日（金）に「第15回なんケアの会」を開催致しました。介護関係者をはじめ、その他多職種の方々にご参加頂きまして誠にありがとうございました。今回はメインテーマである『高齢者の栄養管理』のもと、介護老人保健施設「山盛苑」施設長宮下正弘先生にご講演頂きました。

『高齢者の栄養管理』では、「肺炎は老人の友」(ウィリアム・オスラー)と述べられるようになり、「老衰としての寿命」を考えることについて、老衰と消化吸収能（死期が近づくと食事から栄養をうまく吸収できなくなる。どれだけ食べても、体重は減っていく。）、誤嚥の仕組み（人間は言葉を得る代わりに誤嚥というリスクを背負った。）を取り上げて丁寧にご説明いただきました。

『私の介護老人保健施設での取り組み』では、先

生が病院勤務時代から考えていたこと「無駄な医療機関搬送はやめよう」、「経過（特に死亡時）は紹介医ないしかかりつけ医に報告しよう」について、現在勤務されている「山盛苑」での具体的なデータ、文書、お写真をもって実践を御紹介いただきました。

「入所した方のことを把握しようとしたときに、既往が途切れてしまって繋がって来ない」ことが課題であるとシームレスな連携の重要性について述べられ、「その人の持っている命の切符がなくなるまで元気にいてくれたらいいなあと思っています。」と締めくくられました。

参加者からは「ためになる内容でした」「先生の優しさが伝わってきて、とても良い講演を聞かせていただきました」といった声が寄せられています。

皆様からのご意見・ご感想

図を取り入れての説明で、喉の構造や嚥下の仕組みがわかりやすかった。

居宅介護支援事業所

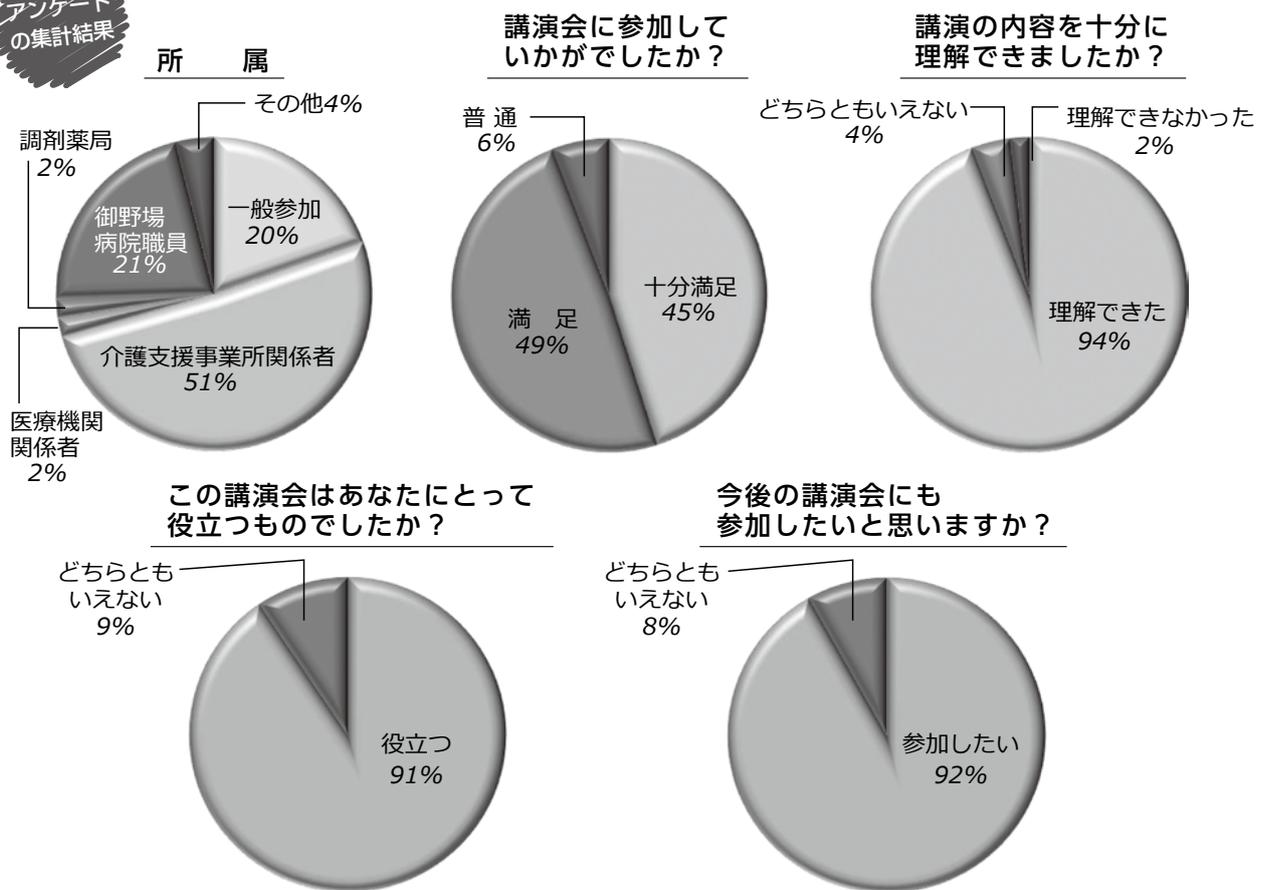
宮下先生の優しさが伝わってきて、とても良い講演を聞かせていただきました。ありがとうございました。

介護支援事業所関係者

死は怖くないと言われると、少し安心しつつ、介護してもらえるか不安になり、食べたい、食べられるうちは大丈夫かな…。

調剤薬局

アンケート
の集計結果



回収率：78.5%（アンケート配布：65名、回収：51名）

Column

おはぎとぼたもち

北窓と夜船

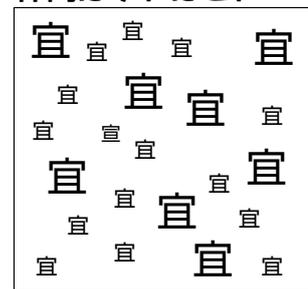
秋はお彼岸。お彼岸はおはぎ。江戸時代ころから、小豆の赤色には災難が身に降りかからないようにするおまじないの効果があると信じられており、邪気を払い、先祖を供養する意味合いからおはぎをお供えするという風習があるようです。もうそのような習慣のあるご家庭も少なくなっているのかもしれませんが、おはぎ、ぼたもち、ごちらも同じですよ。粒あんどこしあんの違い？ そうではないようです。季節によって呼び名が変わっているようで、春は牡丹、秋は萩。それぞれの花に見立てたものだとされています。夏と冬にも呼び名があるようで、おはぎは餅のように搗（つ）いて作るものではないので、いつ搗いたのかわからない。搗き知らず（着き知らず・月知らず）で、夏は夜船（着いたことがわからない）、冬は北窓（月が見えない）というそうです。無理やりの感じもしますが、そのような言われがあるようです。

こしあんと粒あんの違いですが、夏は小豆の皮が柔らかいので粒あんが可能、春は越冬後の皮の硬い小豆のため、皮を剥いたこしあん。というような具合のようです。同じものでも様々な言われがあることも、日本語の難しく奥深い所であるように思えますね。

頭をほぐして
リフレッシュ!!

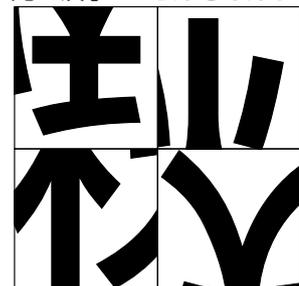


仲間はすれはどれ??



答え→P5

元の漢字は?どんなかんじ?



答え→P6

第16回

南部圏域の地域包括を考える会

なんケアの会

——— メインテーマ ———

地域包括ケアシステム実現を 目指した地域で暮らせる街づくり

～知っておきたい！～

在宅と医療をつなぐ「地域包括ケア病棟」
と「訪問診療」の仕組み

開催日時：平成30年8月17日（金）18:00～19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

参加者：51名（介護事業所関係者27名、調剤薬局1名、御野場病院職員22名、
福祉用具事業所1名）

演題

1. 訪問診療 御野場病院 外来看護師 鈴木美佳
2. 地域包括ケア病棟
～地域包括ケアシステムにおける医療機関の役割～
御野場病院 医療社会事業課 医療相談員 石垣淳史
3. 訪問診療と地域包括ケア病棟
～医療政策による誘導～ 御野場病院 理事長 皆河崇志

平成30年8月17日（金）に「第16回なんケアの会」を開催致しました。

今回から「地域包括ケアシステム実現を目指した地域で暮らせる街づくり」をメインテーマに、3回にわたって開催して参ります。

本日のテーマは「知っておきたい！在宅と医療をつなぐ『地域包括ケア病棟』と『訪問診療』の仕組み」です。介護関係者並びに医療関係者・その他多職種の方々にとって関心の高い内容であり、多数のご参加を頂きました。

「訪問診療」「地域包括ケア病棟」に関して、当院外来看護師の鈴木と医療相談員石垣が講演を担当しました。訪問診療の対象者、往診との違い、訪問できる場所、訪問診療ではどのようなことをするのか、訪問診療・地域包括ケア病棟入院の依頼方法、地域包括ケア病棟入院の対象、入院の限度日数、など実際に利用するにあたり必要な情報を詳しく説明して頂きました。

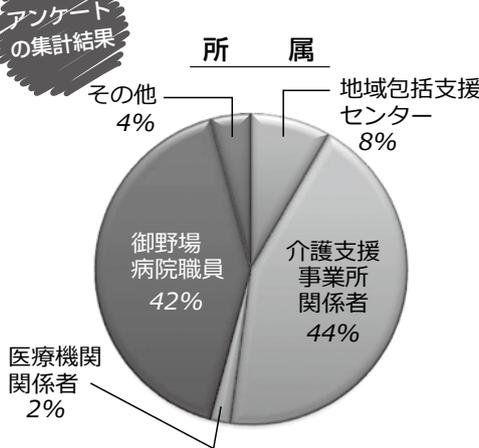
「訪問診療と地域包括ケア病棟～医療政策による誘導～」に関しては、当院理事長の皆河医師が講演を担当しました。中小病院は、地域包括ケアの一翼を担う存在として、訪問診療を行い、後方病床（地域包括ケア病床）の確保に努める役割も求められていること。国は、訪問診療と往診の対象を厳格化しており、ショートステイへ出向いての診療は難しい状況にあること。など、医療政策の現状についてわかりやすく示して頂きました。

超高齢化社会の最先端とも云われている秋田においては、老老介護、認認介護、超高齢独居などの問題を抱えており、最期まで地域で暮らすことが簡単ではありません。今回の講演会により、訪問診療や地域包括ケア病棟の仕組みを効果的に利用することも、高齢者の皆様を支えていくための一つの方法である事が理解できました。

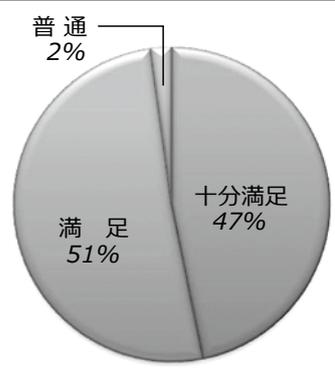
会場の様子



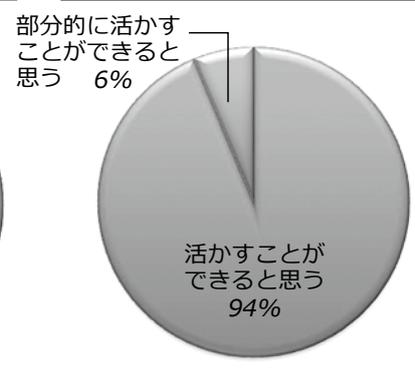
アンケートの集計結果



なんケアの会に参加していかがでしたか？



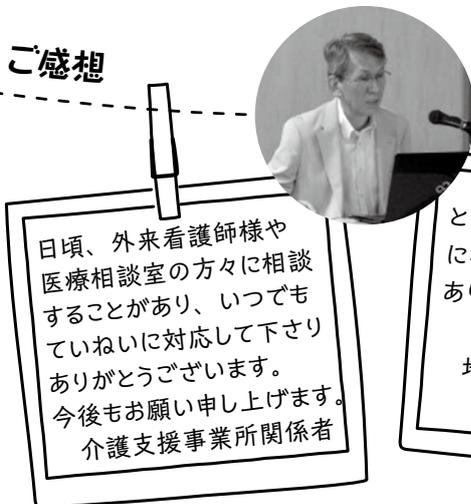
今後、地域での活動に活かすことができそうですか？



回収率：94.1%（アンケート配布：51名、回収：48名）

皆様からのご意見・ご感想

具体的に示していただき、大変参考になりました。ありがとうございました。
地域包括支援センター



日頃、外来看護師様や医療相談室の方々に相談することがあり、いつでもいねいに対応して下さいありがとうございます。今後お願い申し上げます。
介護支援事業所関係者

とてもわかりやすく勉強になりました。ありがとうございました。
地域包括支援センター

Column



衣替えで季節を感じる

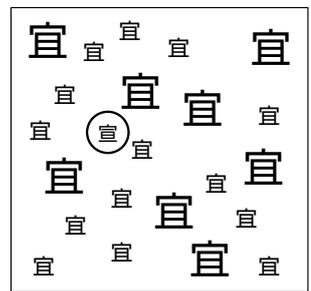


毎年10月・6月が近くなると、あれ？衣替えっていつからだっけ？なんてことを思ったりして、衣替えをし忘れて自分だけ違う装いになったらどうしよう。なんて不安になったりしますが、衣替えは日本の大事な行事の一つなんです。もとは中国から伝わった習わしで、宮中行事として年2回衣替えを行っていたようで、それが庶民へと広まり、現在の衣替えへと変わっていったといわれています。最近は衣替えの時期になっても寒さ暑さがまだ続くようなことが多いため、衣替えが難しかったり、室内では空調が効いているため、衣替えの必要がなかったりしています。しかしながら冬に半袖だったり、夏に厚手の上着を着ていたりしては、見た目にも季節感がないですよ。せっかく四季の移り変わりがはっきりとしている日本に住んでいるのですから、季節に合った服装、季節の食べ物、季節の行事を楽しみ、メリハリのある生活を送るのが日本人らしさというものかもしれませんね。

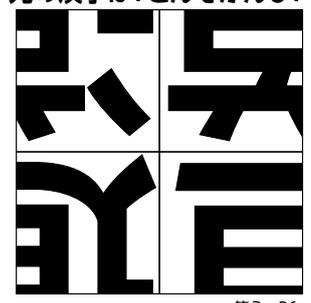
秋は五感を刺激するものがたくさんあります。おいしいものを食べるもよし、きれいなものを見るのもよし、もう少しで冬将軍が来てしまいますので、その前に秋の季節をたくさん楽しみましょう。

頭をほぐしてリフレッシュ!!

答え



元の漢字は？どんなかんじ？



答え→P6



毎年恒例の夏祭りを開催しました。



今年も全国的に暑い日が続き、熱中症が心配される状況でしたが、患者さんに楽しんでもらえるような夏祭りを企画いたしました。竿燈、雄和大鼓、子どもたちによる歌と踊り、職員主催のフラダンスが行われました。たくさんのイベントで、皆さんに楽しんでいただきました。

改修工事のお知らせ

8月から10月にかけて、病院の外壁改修工事を行っております。足場をかけた工事となっておりますので、近隣住民の方々、患者さんには大変ご迷惑をおかけしているかと思いますが、何卒ご理解の程よろしくお願い致します。



栄養科より

6月のランチデー(行事食)についてご紹介いたします。

6月7日と世界中の人々が熱狂したFIFAワールドカップ。当院もFIFAワールドカップにちなんで、ランチデーの日に世界の料理をご用意しました。



日本代表料理として、サッカーボール型と梅干しが乗った日の丸のおにぎり、ドイツ代表料理はお肉を薄くして揚げたシュニッツェル、魚貝の旨味たっぷりのスープはフランス代表料理のブイヤベース、デザートはイタリア代表料理のパンナコッタを提供致しました。

患者さんからは、志向をこらしたね、味がよい、サッカーボールのおにぎりの見た目がよい、と大好評でした。

今年は冬季五輪、ワールドカップ、甲子園とスポーツが熱い年です。御野場病院栄養科も選手からパワーをもらって、日々調理に励んで参りたいと思います。



P3の答え→秋 P5の答え→道